

# 立命館生協 総代学習会

第392号



[ 組合員交流 ]

## 取り組み概要

日時：2/9(月) 18：30～20：30  
場所：立命館大学大阪いばらきキャンパス  
OIC Cafeteria  
参加者数：計44名（学生委員36名、  
職員8名）

背景や概要：年間を通じた総代活動の  
きっかけづくりとして、学生・職員など  
立命館生協の組織を構成する様々な人を  
対象に学習会が開かれた。

生協ALLで取り組む総代会のスタート地点に

### POINT.1

## 第100回総代会に向けた、学生委員が対象の学習会



立命館生協では、5月に開催される総代会、および年間を通じた総代活動のスタートとして、学生委員や職員など、立命館生協を構成する人たちに対して学習会を実施しました。生協職員が作成した議題・スライドをもとに、主に「生協・総代・学生委員の価値について考える時間」と「職員と学生がとともにつくる生協について考える時間」が設けられていました。

前半の時間では、「生協が組合員とどのように関わっているのか」、「総代を集めて総代会を開催する意義や目的」などについて、これまでの活動で感じた想いや経験をもとに活発なグループワーク、意見交流ができていました。

### POINT.2

## 職員と学生と一緒に考えて考える時間

後半の時間では、グループワークに職員も加わり、「生協事業×学生組合員・学生委員会」について考える時間が設けられました。最初に職員の視点から、「学生委員と一緒に取り組みたいこと」の提案がされていた点が印象的でした。そのあと、職員と学生委員が一緒になって、感想交流や職員からの提案に対する協議を行っていました。職員・学生委員の双方の想いを直接伝えあい、ともに考えることができる貴重な時間となっていました。



### POINT.3

## 総代選出、組合員との関わりづくりに向けて



総代学習会以降、キャンパス別で「キャンパス委員会」が定期的に開かれています。学生委員と職員と一緒にキャンパスの課題を把握し、「多くの組合員を巻き込んで、ともにつくる生協」の実現に向けて活発な議論が行われています。

学生委員・職員それぞれの立場でものごとを捉えて議論を進めることができたり、学生委員の活動に対する想いを素早く反映し、様々な取り組みの実現に向けてスムーズに準備を進めることができたりしています。これは、職員と学生が直接話すことができる場という強み・特徴を活かすことができている。